

町のシンボルがくつきじと
「八の字」
草刈りが行われました

6月17日、八中裏の糠森で「八の字」の草刈りが行われました。この「八の字」は、町のシンボルマークをつくらうと、八森活性化イベント実行委員会が、15年前から実施している、すでに町のシンボルとして定着しているものです。この日は、同会員とボランティア15名が参加し、草刈り機を担いで急な斜面を這って、約3時間の作業に汗を流していました。

作業が終了すると、「八峰」の「八」としての、町のシンボルマークが山肌にくつきりと浮かび上がりました。



ボランティアの努力と汗の結晶です！

全県少年野球都予選
峰浜中が2年連続の優勝



全県大会出場を決めた峰浜中ナイン

第73回全県少年野球大会の山本都予選が6月16日と17日に、広域峰浜野球場で行われました。決勝戦は勝ち進んだ峰浜中学校と藤里中学校の対戦。峰浜中が10安打のうち長打が6本と打線が爆発し、9対2で2年連続5度目の優勝にかがやきました。

ハーブの香りを
たのしみました

6月23日から7月9日まで、ポンポコ山公園の「西海岸ハーブ園」でラベンダー祭りが開催されました。道の駅「みねはま」から入ってすぐのハーブ園には、紫色の花が一面に広がっており、ラベンダーの刈り取り体験や、ハーブグッズの販売が行われ、たくさんの家族連れでにぎわいました。

25日にはフリーマーケットや抽選会、エレクトーン演奏が行われ、ラベンダーの香りとエレクトーンの音楽で訪れた人々は癒されていました。



たくさんの家族連れが、ハーブの香りを楽しみました

地域の交通安全を願う
鐘道様づくりも体験

6月7日、埴川小学校の校庭で交通安全鐘道様づくり体験が行われました。交通安全協会埴川支部や大信田老人クラブの指導のもと、児童は手や足などをワラでつくりました。完成した鐘道様は学校前の横断歩道脇に設置され、児童の安全を見守ります。



パレードで交通安全を呼びかけました。

歌や踊りで外国文化に触れる
岩館小学校で
国際理解講座開催



コロンビアの踊りを体験

6月20日、岩館小学校で中南米の文化に触れようという国際理解講座が開催されました。

講師は、コロンビア出身の佐藤ピエダさんとメキシコ出身の安部ノラさん、ブラジル出身で3世の小林久江さん。児童たちは事前に学習したスペイン語の挨拶で歓迎しました。

講座ではお互いの頬を合わせる中南米式の挨拶や、各国の伝統的な踊りを体験し、恥ずかしそうに照れ笑いを浮かべながらも、外国の文化を楽しんでいました。

より一層の発展を誓い合いました
約120人が交流を深めた
第44回東京八森会総会



お互いの親睦を深めました

6月10日、東京近郊に住む旧八森町出身者で組織している東京八森会の総会が東京新宿区のホテルで開催され、会員のほか、地元から出席した町長や議員を含めた関係者ら約120人が出席。久しぶりに顔を合わせた参加者たちは、故郷の思い出話に花を咲かせていました。

町長はじめ町からの参加者は、町の近況をお知らせし、関東峰浜ふるさと会から米森三次郎会長からも駆け付け、お互いの親交を深めていました。

法務大臣のメッセージを伝達
「社会を明るくする運動」
強調月間



法務大臣のメッセージを伝達

7月1日から31日までの「社会を明るくする運動強調月間」にあたり、八峰町保護司会と八峰町更生保護女性会では、法務大臣のメッセージを加藤町長に手渡ししました。

社会を明るくする運動とは犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、全ての国民が、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする運動です。この会では、「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」をスローガンに各職場や小中学校を訪問するほか、ポスターやのぼりの掲示などで運動の啓蒙を行う予定です。



ゆったりとした和洋室タイプ

宿泊施設完成
ハタハタ館フルオープン

7月1日、ハタハタ館3階の宿泊施設がオープンし、昨年の8月から始まった大規模改修工事が完了しました。

完成した宿泊施設は全8室で35人が宿泊可能。客室からは日本海を見渡せ、その向こうには男鹿半島が望む絶好のロケーションです。

ハタハタ館では、初めてのホテル形式の宿泊客の受け入れに向けて、設備整備やスタッフの研修など準備を進め、この日のオープンを迎えました。

また、4月から温泉、レストラン、売店部門を、5月から宴会部門を営業して、この2カ月間の売上額は、前年対比35%増と、好調なスタートを切っています。